

要 望 書

平成 25 年 11 月 27 日

松尾崇 鎌倉市長 殿

鎌倉ガーディアンズ
代表 大津定博

鎌倉ガーディアンズは、平成 25 年 3 月より、地震対策のためのボランティアとして、家具転倒を抑止する「突っ張り棒」の取り付け作業を行っております。

これは、地震による家具転倒で家人が死なない、傷つかないようにすることを目的とするもので、広く鎌倉市民に利用を呼びかけております。具体的には、自治町内会、教育機関などに 5 千枚のチラシを配布し、併せてメディアの方にご協力を頂き広報活動を行いました。私達も、設置手順のマニュアルを作成し、研修を重ねました。

しかし、実際に設置を完了した世帯は、9 か月間（平成 25 年 3 月～11 月）で 31 世帯、161 本の取り付けにとどまりました。多くの方から問い合わせや高い関心を寄せられましたが、実際には申込の段階で躊躇されるケースがほとんどでした。これは本当に私達の予想外でした。

そこで、可能な限り利用を躊躇された方に理由を聞き取りしたところ…
取り付けの際に、ボランティア（業者ではない同じ市民）に家屋の中（特に一番掃除をしていない家具の天井部や筆筒周り）を見られることに対する抵抗感と羞恥心

という理由が多く聞かれました。

私達の現状のボランティア活動では、市民に啓蒙するという一定の成果は有りましたが、どうしてもこれ以上の普及は限界があると考えております。

しかし、上記の懸念などが障害となって「突っ張り棒」の利用が進まないのであれば、市民の安全という視点から、その懸念を取り除いて、より一層安全を確保する方策をとるべきと存じます。

そこで、現在、鎌倉市で進められている防災支援事業の一環として、「突っ張り棒」の取り付け業者への行政による補助をお願いできないものかと考えております。プロフェッショナルな業者が取り付け作業を行うことにより、上記の懸念が解消され、市民も安心して作業を任せられるのではないかと考えております。お隣の横浜市では、既に高齢者世帯に取り付け費用の補助を行っておられるようです。何卒よろしくご検討を頂きたくお願い申し上げます。

以 上